

## 研究結果報告書

日・越両言語における意味分類体辞書の考察、「和名集」と「大南国語」を中心に

所属： ベトナム社会科学院 ハンノム（漢喃）研究所

役職： 研究員

氏名： ラー・ミン・ハン

日本は、ベトナムと同じく、1～2世紀（ベトナム）、5～7世紀（日本）ごろから、中国の漢字文化から多様な影響を受けた。古語辞典編集はその一つである。

日本の辞書には長い歴史がある。『楊氏漢語抄』は最古の辞書と認められる（養老年間の編纂）。鎌倉時代以来、文字の音と意味を区別し、二種の辞書が形成された。そのうち、和名集は意味分類体辞書の総称であり（合計16本）室町時代に形成された。一方、ベトナムの古語辞典は全体として意味に基づいて分類している（合計10本）。

本研究は『有坂本和名集』（下記『有坂本』と省略）と『大南国語』（下記『大南』と省略）を対象として比較する。考察の結果、以下の6点が確認された：

- 1、意味に基づいて、『有坂本』は39部、『大南』は47門と3部に分けられている。部名称については差異があり、『大南』の部は元々漢字部首の意味で、『有坂本』の部は漢字部首ではなく、『大南』の門に当たる。
- 2、『大南』所収語数は『有坂本』より多く、4817対2490である。
- 3、詞目の名称と内容について差異の程度は三等に分けられる。例：天文門と天象部、彩色門と染色部、疾病門と病部（同一）；飲食門と辛物部、餅餌門と點心部（相当）；『大南』の蠶桑、撒網、文事の門は『有坂本』にはない（対応しない）。部門対照は『大南』の5門と2部が『有坂本』に収録されておらず、逆に『有坂本』の3部が『大南』には全く見えない。
- 4、『大南』には意味詳解の傾向がある。例：『有坂本』人倫部所収詞目は『大南』では人倫、人品と酬應の門に分配する；装束部詞目は『大南』では女妝、織紵、衣冠服用、錦繡と衣服の門に分置される。
- 5、動植物関連する詞目を考察した結果、下記結果がえられた。：『大南』羽蟲、毛蟲、鱗蟲、甲蟲、蟲豸の門（合計483）は、『有坂本』禽、獸、馬、蟲、魚と貝の部（合計213）に相当する。特に『大南』毛蟲門所収詞目は『有坂本』では獸、馬、蟲の部に区別される。両者の植物に関連する詞目からは興味深い結果が得られた。：『大南』では百花、白果、蔬菜、百草と百木の門（合計639）を区別するが、『有坂本』では草部と木部（合計169）しかない。統計の結果、ベトナムは日本より動植物が豊富だと認められる。
- 6、補遺部分として、『大南』には文事、作用と俗語門及び水、土、金部；『有坂本』には京大小路、對楊、雜字と伊路波部がある。そのなかで、俗語門には伊路波部；作用門には雜字及び伊路波部、それぞれの所収詞目が対応するものと思われる。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

漢日古語辞典編纂及び使用の伝統について [*Compile the reference of bilingual book- from system angle*], 2015年国際学術シンポジウム「第四屆東亞語文社會國際學術研討會：日本研究の去疆界化與再疆界化」(日本語で)

場所：中国、台湾；時間：2015年4月

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

*Vài nét về việc biên soạn từ thư Hán – Nhật*, [*漢日辞書編集について*], *To compile the dictionary of Chinese – Japan*, *Information of Han Nom Studies*, 2014年12月(ベトナム語で)

場所：ベトナム；時間：2014年12月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)